

ワンポイントアドバイス～オリンピックから学ぶ精神～

現在、リオオリンピックで日本選手団が健闘しています！

オリンピックは最高の舞台、そこで結果を残すために、4年間地道に努力を積み重ねてきています。そんな選手が、メダルを獲得した瞬間の表情や涙は、なんともいえない感動を与えてくれます。

そこにたどり着くために
どれだけの努力を重ねてきたか、
どれだけの時間をかけてきたか、

努力をしてきたからこそ、そこに懸ける思いがあります。

競泳400m個人メドレー（金メダル）、荻野公介選手

「本当にいろいろあったが、平井先生にメダルをかけさせてあげたい一心で泳ぎました。」

テニス（銅メダル）、錦織圭選手

「日本のためにがんばるというのがすごく心地いいというか、楽しかった」

ホッケー帯同メンバー 大家涼子選手

「チームのために自分ができることをやるのみ。でも五輪のコートに立ちたかった。」

柔道男子60キロ級（銅メダル） 高藤直寿選手

「まわりの人たちの応援があったからこそ銅メダルが取れたと思うので、感謝の気持ちでいっぱいです。」

メダルを獲得した選手、出来なかった選手、コートに立てなかった選手、オリンピックの舞台でも、いろいろな立場があります。でも、この舞台に立つために、4年間努力をしてきたことには変わりはなく、その過程があるからこそ、選手たちが話す言葉から、嘘のない素直な気持ちが伝わり、心に響きます。

ぜひ、残りのオリンピックも、いろんな競技に注目し、選手たちが残すコメントから、いろんなことを感じてみてください。